

### 3.8国際女性デーフォーラム

# 「歴史的な性差別から女性が立ちあがる日」

## ～女性の持ち味とパワーが発揮できる社会が望ましい～

### 女性デーフォーラム



主催者を代表して挨拶する横山まゆみ副委員長  
で行きたい。」と挨拶し、開催趣旨への理解と協力を求めた。

引き続き、連合福島今泉裕事務局長から「女性の強さ・しなやかさ、そこから来る女性ならではの視点と行動力は先の大震災でも示され、大きな原動力となった。女性の持ち味とパワーが発揮できる社会が望ましい。」と、激励と連帯の挨拶を受けた。



「新島八重物語」を熱く語る星絵里子さん

第2部は、会津若松市観光公社より星絵里子氏にお越し頂き、紙芝居劇「新島八重物語」を上演し、その時代凛々しく振る舞い、信念を貫いた女性の生き方を鑑賞して、新たに感動を深めた。

いずれにしても、女性が差別されることなく生き生きと働き暮らすことができる環境づくりのためには、女性も男性も相互の気配りや思いやりが不可欠であることを改めて感じたフォーラムとなった。

連合福島男女平等推進委員会主催による「3.8国際女性デーフォーラム」は3月1日(土)福島市の県労働福祉会館において、県内各構成組織と地域・地区連合から約120名が参加し開催された。参加者は女性デーフォーラムに相応しく、約6割が女性で占められた。

冒頭、横山まゆみ副委員長が「3.8国際女性デーは歴史的な性差別から女性が立ちあがる日であり、国際的にも3月8日を尊厳の日として位置付け、女性の権利に関するキャンペーンの中で行動することを訴え、連合福島2014春闘の一環から連合男女平等推進委員会として、女性の参画割合のアップや継続的な運動に取り組ん



その後第1部の講演とし

て、福島労働局より雇用均等室室長の加藤孝子氏を講師にお迎えして、「男女がともに活躍できる職場づくり」と題して、ワーク&ライフバランスの推進など、これからの職場環境づくり等に大変参考になる有意義な話をお聞かせ頂いた。



真剣に傾聴する参加者の皆さん